



開かれた山桜会をめざそう 学院創立120周年記念募金 にご協力を!

校友会 山桜会 会長 川原 俊明
(小71・中高14期)

◆ はじめに

今年の春は、たくさん桜見物することができました。山桜、ソメイヨシノ、八重桜…。特に、母校の各学校入学式に参加させていただいて、目のあたりにした満開の桜は、新入生を歓迎するのに十分なほどでした。

会員の皆様の花見は、いかがでしたか。

今年も、山桜会行事は、新年会から始まりました。最初から参加者数500人を目標にしていたこともあって、実に多数の方々にお集まりいただきました。

山桜会新年会は、会員を中心としたオール追手門関係者の懇親の場として設定していただけて、会員、ご家族、先生方、PTA関係者など、多数の人々との楽しいひとときを過ごすことができました。

◆ 新役員誕生

さて、山桜会では、この4月から新しく役員が選任されました。自薦他薦の多数候補者の中から、会則に則り、選考委員会によって、新たな評議員・監事が選ばれました。

新評議員131名の皆さんには、それぞれが学年代表としての立場から、一般会員に開かれた山桜会活動をしていただこうと思います。

評議員を選ぶ選考委員会では、活動意欲があり、かつ、活動可能な会員を中心に厳選された結果、以前に比べ、評議員の数は大幅に減少しました。

評議員会で選任された新理事も、刷新された顔ぶれとなりました。より機動的な活動に対応できるよう、理事数をこれまでの約半数の19名に絞り込まれました。理事会運営を、従来の「株主総会型」から「取締役会型」で実践しようと思います。

会長指名による3名の副会長中、2名が新任です。寶來扶佐子さんは、多喜晴代さん以来、二人目の女性副会長です。辻中徳一さんは、茨木の高校23期。藤村敬さんは、従前の経験を生かしていただくべく続投。3人それぞれの長所を生かして、山桜会をリードしていただきたいと期待しています。

新会長は、わたくし川原俊明です。残念ながら前期、前々期と変化なし。変化を求めている会員の方には申し訳ありません。ただ、この山桜会をもっと楽しく、より多くの一般会員が参加できる同窓会になるよう、活動内容に大きな変化を与えようと思います。

◆ 新方針

山桜会活動は、同窓間の親睦とともに、卒業生の立場からの母校改革支援であるべきだ。私は、この信念を最初から一貫して主張してきました。

ただ、この活動が、一般会員の方々に、どこまで理解を得ているのか。あるいは、どこまで一般会員とともに活動できているか、が問題です。

元来、追手門の卒業生は母校愛が強く、クラスごとに同窓会の開催がよくなされています。しかしながら、多くの同窓の集まりに、山桜会帰属意識が伴っていない欲しいと思いますし、役員でない一般会員が気軽に参加する同窓会活動こそが大切だと考えています。

そのためには、学年代表であるべき評議員の役割を見直す必要があります。

いまだに評議員には、年数回の評議員会出席をお願いしてきました。

しかし、活動意欲のある評議員の方が、その役割を十分果たしていただけるよう組織再編が不可欠です。評議員間のグループ別活動など、評議員同士の連絡プレーが必要です。評議員の皆さんは、本来、学年代表であり、一般会員との橋渡し役という重要な役割を担っています。

評議員の役割が十分に機能できる体制ができれば、一般会員に開かれた山桜会の実現も、決して遠くありません。そしてみんなで「楽しみ」と「やりがい」のある同窓会活動を実現しましょう。

「開かれた山桜会」の実現。一般会員3万人のための山桜会。

学院創立120周年を機に、山桜会90年の総括とともに、山桜会そのものを改革すべき時期に来ています。

「将来を考える日」など、山桜会の母校改革支援活動は、学院からも大きな評価を得て来しました。私たちが唱える母校改革支援活動の背景には、私学運営の最終責任は、私たち卒業生が負うべきだ、という認識につながります。

卒業生にとって、母校とは、一生涯、離れられない運命にあります。それならば、卒業生が、母校の発展を望み、これに貢献すべきは当然のことでしょう。

私たち卒業生は、母校の現状と発展により大きな関心を持ち、運営の最終責任を持つべき認識を高める必要があります。

同窓会活動は、完全なボランティア活動です。しかし、山桜会活動から得られる無償の対価は、人脈の形成と、同窓仲間という無形の財産を築くことができます。多くの会員が、同窓会活動のメリットを理解していただき、ぜひ山桜会活動に多くの会員が参加していただくようお願い申し上げます。

総会へのお誘い

今年の総会は、校舎建替えが完成した大手前中高新校舎を活用させていただきます。学院創立120周年記念事業に伴い完成した建物6階の学院スペースから眺める大阪城の威容は、大阪一の絶景です。このホールで開催される山桜会総会は、景観を眺めに来られるだけでも値打ちがあります。総会の後には、卒業生や恩師を対象にした校舎見学会が開催されます。旧校舎時代の卒業生からは、ひがみの声が聞こえてきそうです。1階カフェテラスでの懇親会では、多くの先生方との懐かしいお話が聞けそうです。

ぜひ、お友達をお誘いのうえ、多数ご参加を御願い申し上げます。

◆ 募金にご協力を

追手門学院は、今年の創立120周年記念事業の一環として、幼稚園から大学まで、校舎全面建替に挑んでいます。同時に、教育改革にも力を入れ、ハード・ソフト両面からの刷新を図っています。母校の改革姿勢を御理解いただき、私たちは、卒業生として少しでも多くの募金をするにより、母校の発展に貢献していきたいと思っています。

会員の皆様、よろしくご協力のほどお願い申し上げます。